

モニタリング結果報告書

施設 城ヶ島公園
指定管理者 社団法人三浦市観光協会・有限会社湯山造園土木
施設所管課 横須賀土木事務所

(平成 23 年度 下半期)

管理運営状況総括

1 今期の指定管理者の管理運営状況（2～10の結果を踏まえ、判定してください）

B

＜判定理由＞

駐車場の収入は減っているが、経費節減努力により支出を抑えるなどして比較的良好な収支バランスとなっている。今年度は公園管理者への苦情は1件もなく、利用者の満足度も高いが、来園者の総数は減少しており、更なる利用促進により来園者を増加できる要素もあることから、B判定とした。

- A：提案を上回る取組みを実施し、極めて良好な管理運営状況である。
 B：提案どおりに取組みを実施し、良好な管理運営状況である。
 C：提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況については、一部工夫が必要な面がある。
 D：提案どおりに取組みを実施していない。また、提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況については、抜本的な改善が必要である。

2 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	確認方法			指導等の有無	備考（指導事項等）
			月報確認	現場確認	電話確認		
10月	11/18	12/1	○	○	×	なし	台風により変色したクロマツの対処状況を確認。変色箇所の剪定を開始
11月	12/15	1/5	○	○	×	なし	引き続きクロマツの管理状況を確認。順調に作業を進めている
12月	1/18	2/3	○	○	×	なし	クロマツの管理状況を確認。当月で剪定が完了
1月	2/16	3/2	○	○	×	なし	水仙の開花具合を重点的に確認
2月	3/21	3/30	○	○	×	なし	クロマツの回復具合の確認
3月	4/24	5/9	○	○	×	なし	イベント実施状況の確認

3 指定管理者が提案した取組み等の実施状況

（指定管理者の選定に際して、サービスの向上や利用促進の観点から提案された各取組み等について、提案内容の要旨とそれに対応する形で実績又は今後の見込みを記載する。）

<提案内容の概要>

利用促進方策

- ① 年間を通じた利用平準化のため、季節の特色に応じたイベント事業を実施する。
- ② 公園の誘客促進のため、宣伝広報活動を積極展開する。

地域や関係機関との連携

- ③ 土日祭日やイベント開催時にテント売店を出し、地元の特産品等の展示販売を行う。

<実施状況>

- ① 1月15～23日の8日間、地元関係者との連携による「水仙まつり」を実施。最終日に地元愛好家による、和太鼓やかつぼれ踊りを予定していたが雨天のため中止。
3月25日、11月から4月にかけて越冬するウミウの観察会を実施。観察用望遠鏡に列を作る程の盛況で、ウミウの説明と共に公園の自然の美しさをPR。
- ② 上半期は実施したが、下半期は未実施。
- ③ 「水仙まつり」において、地場産品である三浦名産の大根・キャベツ等をテント売店により販売し完売した。このほか陣屋汁の無料サービスも併せて実施。

4 収支状況（単位：千円）注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しません。

	収 入 額				支出額	収支差額
	収入合計	指定管理料	利用料金	その他収入		
年間予算額 今期 (前期)	38,850 (38,800)	20,750 (20,750)		18,100 (18,050)	38,850 (38,800)	0 (0)
下半期 予算額	18,869	10,459		8,410	18,507	361
10月	2,568	1,347		1,221	3,013	△444
11月	2,120	1,097		1,023	2,491	△371
12月	3,949	3,110		839	3,828	121
1月	3,240	1,618		1,622	3,130	109
2月	1,934	759		1,175	2,181	△247
3月	3,573	2,528		1,045	3,869	△295
今年度 半期計	17,387	10,459		6,928	18,515	△1,128
前年度 同期計	17,382	10,459		6,923	19,507	△2,125

- 1 指定管理者の収入を記載する（県の収入である「使用料」は含まない）。
 2 「その他収入」は、都市公園の駐車場収入、雑収入、寄付金収入など指定管理料と利用料金以外のすべての収入を記載する。

収支状況に関する意見等

- ①年間予算額における収支差額が0でない場合は、その理由を記載する。
 ②今年度半期計欄の収支差額が、収入合計又は支出額のうち低い方の額の1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し詳細に記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。また、収支差額に1割以上プラスが生じた主な理由が、人件費の削減である場合は、年度協定における人員配置計画と比較し、合理性が認められるか否かを記載する。
 ③今年度半期計における収入額又は支出額が前年度対比30%以上プラス又は、マイナスとなっている場合は、理由を分析し、詳細に記載する。

<意見等>

①～③ 該当なし

<参考>

本施設について県が支出した（する）修繕費等

30万円以上の修繕費等については、県が支出することと基本協定で定めている。施設の状態をよりの確に把握するため、県が支出した修繕費等についても参考に記載している。

- 1 県が支出した施設の修繕費等の金額及び工事内容を記載する。
- 2 「金額」欄は、半期ごとの総額を記載し、「工事箇所・内容」欄には、主な工事とその金額をカッコ書きで記載する。

	金額	工事箇所・内容
上半期		
下半期	682 千円	照明灯安定器等取替工事（682 千円）
総額	682 千円	

（今期に行った資本的な収入及び支出等の状況）

⇒該当なし

	内容	金額(千円)
収入の状況		
支出の状況		
積立等の状況		(期首)
		(期末)

収入の状況：定期預金の取り崩し、借入れによる収入があった場合等は、その旨を必ず記載する。
支出の状況：車両の購入、施設の増改築、また定期預金の積み立てを支出に含めた場合等は、その内容を必ず記載する。

積立等の状況：積立・借入れ等がある場合は、その内容（施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等）、当該期首及び期末の金額を必ず記載する。

5 利用状況

	利用者数	前年同月利用者数	前年対比増減率
10月	17,860人	18,460人	△3.3%
11月	16,570人	16,330人	△1.5%
12月	10,300人	13,900人	△25.9%
1月	32,050人	38,450人	△16.6%
2月	14,030人	15,550人	△9.8%
3月	11,770人	9,040人	30.2%

	目標利用者数	利用者数	前年同月利用者数	目標対比増減率	前年対比増減率
今年度上半期計	なし	99,860人	130,250人		△23.3%
今年度下半期計	なし	102,580人	111,730人		△8.2%

※目標利用者数は設定していない。

利用状況に関する意見等

①今年度上(下)半期計の前年対比増減率が、1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由及び対応策を分析し記載する。(特に、理由の記載にあたっては、各月の状況を分析し、わかりやすく具体的に記載する。)

②目標利用者数を下回った場合は、その理由を記載する。

なお、目標利用者数を定めていない場合は、未記入もやむを得ないが、次回以降は記入する。

<意見等>

①② 該当なし

6 苦情・要望等の状況

受付件数(うち施設所管課受付分)

	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	メール	アンケート	
合計	0(0)	2(2)	0(0)	0(0)	7(0)	9(2)

特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

（類似の苦情や要望が多く寄せられたもの、苦情や要望をもとに対応した取組みが利用者に評価されたもの、苦情や要望のうち対応したいと考えるが、諸般の事情により対応できないものなど、特に注意すべき場合に記載する。）

分野	概要	対応状況
施設・設備	・ 有料駐車場を無料にしてほしい	・ 無料駐車場を案内した
	・ 園内に音楽を流してほしい	・ イベント開催期間に限り実施した
	・	・
職員対応	・	
	・	
	・	
事業内容	・	
	・	
	・	
その他	・	
	・	

8 事故や不祥事等の発生状況

（利用者や職員が死傷した場合、業務の実施において法令違反等による指導や処分を受けた場合及び個人情報や公金の管理等において不適切な取扱い等があった場合は、その概要と対応状況を記載する。なお、利用者の死亡事故や個人情報の流出等、重大な事故や不祥事が発生した場合は、県庁改革課に任意の様式により速やかに報告書を提出する。）

⇒該当なし

発生日	事故の概要	指定管理者の対応状況	原因・問題点 (指定管理者の課題を含む)
月 日			
月 日			
月 日			

9 随時モニタリングの実施状況

〔 事故や不祥事の発生等に伴い、施設所管課が随時モニタリングを実施した場合は、調査内容や結果を記載する。 〕

⇒該当なし

実施日 (事故発生日)	対応者等	経緯・調査内容	調査結果(指定管理者の課題の有無等を含む)
月 日 (月 日)			
月 日 (月 日)			

10 下半期の所見等

〔 2～9の各項目の状況等を踏まえ、指定管理業務をより効果的・効率的に推進する観点から、反省点や改善策等を記載する。 〕

<p>指定管理者</p>	<p>来園者数及び駐車台数の減少が目立ったが、地震以降、城ヶ島だけでなく、三浦市全体の来遊客数が減少している。</p> <p>公園の管理については、園内清掃・松の手入れ・草刈等を入念に行い「いつ来ても綺麗な公園」と言われる様に心がけているが、全体的に施設の老朽化が目立つため、小破修繕に努めつつ徐々に更新していけるよう、県との情報共有を図る。</p> <p>PR等は、三浦市観光協会・三浦市・神奈川県・神奈川県観光協会等各団体で連携をし、県内及び県外で公園の宣伝活動に努めている。</p> <p>また、観光協会という業種を生かして、雑誌・新聞・テレビ・ラジオ等のメディアを有効に活用している。</p>
<p>施設所管課</p>	<p>暴風雨により軒並み変色したクロマツの枝葉は、指定管理者が適切に処置を施したことで、クロマツの延命と優れた景観の維持に大いに貢献した。</p> <p>来園者については、現在は既に震災の影響は無くなっている。周辺資源高め高いポテンシャルを有しており、魅力の向上と、メディア等利用した積極的な情報発信により更なる来園者の増加は可能である。</p>